

平成 30 年第 7 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 平成 30 年 7 月 24 日 (火) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 15 時 00 分
- 3 開催場所 加西市役所 4 階入札室 (大)
- 4 出席者 教 育 長 兼 松 儀 郎
委 員 多 田 久 子
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	繁 中 一 也
次長 (子育て未来政策担当)	中 倉 建 男
次長兼教育総務課長	内 藤 利 樹
参事兼学校教育課長	本 玉 義 人
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	菅 野 広 美
総合教育センター所長	吉 村 靖
教育総務課主幹兼施設係長	井 上 英 文
学校教育課主幹	小 坂 卓 司
生涯学習課主幹	永 井 信 弘
教育総務課総務係長	松 田 ちあき

6 付議事項

議案第 27 号 平成 31 年度使用教科用図書 (中学校道徳) の採択について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第27号 平成31年度使用教科用図書（中学校道徳）の採択について

参事兼学校教育課長より説明を行う。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、加西市立学校における平成31年度使用教科用図書（中学校道徳）について、別紙のとおり採択したいので、委員会の議決を求める。平成30年7月24日提出。

平成30年7月13日（金）、小野市の「コミュニティセンターおの」において、北播磨採択地区協議会が行われ、平成31年度使用の道徳の教科書について協議された。協議結果等については、以下のとおりである。

8社の調査結果の概要については、「教科用図書に関する報告一覧」に示している。

調査にあたり、「調査研究項目およびチェックリスト」にあるように、内容の配列や分量、文字の大きさや読みやすさ、挿絵の配置、色使い等、細かなところまで調査された。また、いじめ問題への対応や兵庫県ゆかりの教材、震災を取り扱った教材については、その取り扱い方と分量等について調査されている。

『別冊ノート』がある出版社が2社あったが、採択における判断材料とはしていない。あくまでも中身の資料を重視し、生徒の成長を促すことを考慮した協議を行っている。

以上の調査結果及び協議の結果、北播磨採択地区協議会としては、道徳の教科書として最も好ましいものとして、「廣済堂あかつき」を挙げた。その理由として、道徳的価値について深めやすい資料が多く、生徒が多面的・多角的な見方や考え方をすることにより、主体的に考えを深めやすい。伝統や文化等に関する内容については、兵庫県内の題材を取り扱っており、親しみやすく共感しやすい。主人公の道徳的な変容を伴う資料が多く、授業展開がしやすい等が挙げられている。また、別冊のノートの使用については、子どもの思考が画一的にならないように留意し、柔軟に対応するように求めている。

なお、共同採択地区内の市町組合教育委員会は、協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択することとなっている。

教育委員より、「調査研究項目およびチェックリスト」に関して、昨年度は小学校の教科書採択があったが、小学校と中学校の教科の連続性は考慮して検討されていないのかとの質問があった。これに対し、項目としては、小中ほぼ共通した内容のものになっているが、連続性は考慮されていない旨、回答する。

9 議決事項

議案第 27 号 平成 31 年度使用教科用図書（中学校道徳）の採択について

原案通り可決

10 報告事項

教育長

教育長より着任以降の主な事項について報告する。

7/19 新教育長辞令交付

7/19 平成 29 年度予算執行に係る決算審査を監査委員から受けた。特記事項なし。

7/21 内藤委員任期満了

7/22 楠田委員任期開始

7/23 内藤委員に市長から感謝状贈呈

楠田委員に辞令交付

7/23 市議会議長・副議長に就任あいさつ

こども未来課長

平成 30 年度の夏季学童保育園の入園者数について、こども未来課長より報告する。現在、加西市には 11 の学童保育園があり、7 月 1 日現在、定員 420 名のところ 341 名の児童が在籍している。夏休みの学童保育園については、各園合計で 108 名の入園希望があり、7 月 11 日現在、入園を申し込んだにも拘らず入園できず、待機している児童が保留という形で 25 名いるという状況である。夏休み前に退園した児童、また入園を辞退した児童もあるため、現在では泉学童保育園の 2 名が入園保留という状況になっている。

資料に学童保育園（夏季）入園のご案内を参考に付けているが、今年度はプールが実施されない為、内容に変更が生じた。

教育委員より、入園待機児童が 7 月 11 日現在、25 名であったのが、現在 2 名に解消されたという解釈でよいのかとの確認があった。さらに、当初はできるだけ夏季学童保育園の申込者に対しては原則として低学年児童を優先するという概ねの枠があったと認識しているが、入園待機児童の中に 1 年生が含まれているのには、何か理由があるのか。また解消されていない 2 名の中にこの 1 年生は含まれていないのかとの質問があった。

これについて、毎年1年生の学童保育園の申込者が増えており、低学年から優先的に考慮しても、条件によっては1年生でも保留になってしまう児童ができてしまうのが現状ではあるが、現在1年生は全員希望どおり入園できている旨、説明した。

さらに、両親の仕事等、家庭の事情で学童保育園を申し込まれたにもかかわらず、保留になってしまった児童への手立ては何か考えているのかとの質問があった。両親の勤務時間が長い、家族に重度の介護が必要な方がいるなど家庭により事情は様々であるが、より緊急度の高い児童を優先しているため、祖父母の協力が得られる方等は保留になる場合があり、そういう方は家族間で調整をつけながら待機してもらっているというのが現状であると回答した。

また、順番を待てば学童保育園に入園できるのかとの質問については、夏休みの前後で退園する児童も多いので、一学期を家族間で調整しながら待つと何とか第1希望、第2希望に入園できる可能性が高くなっていると回答した。

学童保育園を手伝う方は少ないのかとの質問については、通常は放課後のみの対応であるが、夏休み中は朝8時から夕方6時半までと時間が長く、指導員も通常の倍の人数は必要となるため、学生のアルバイトにも声をかけ、総動員で対応している現状を説明した。

生涯学習課長

こども情報誌について、生涯学習課長より報告する。子ども情報誌は、夏休み期間中の、市各担当課、生涯学習関係機関等が開催する子ども向け講座を一覧にし、学習機会の情報提供の取り組みとして、子供たちに配布しているもので、6月末に市内各小、中学校を通じて児童生徒全員に、また、こども園、保育所等4歳以上の保護者にも園を通じて配布した。今回はイベント数33件、ちょっとしたボランティア「チョコボラ」2件を掲載している。参加者が少数で、取りやめになったものもあるが、申込状況は、概ね定員に達している状況と聞いている。

総合教育センター所長

平成30年度 第1回総合教育センター運営委員会について報告する。平成30年度第1回センター運営委員会を、平成30年7月4日（水）に開催した。出席者はセンター運営委員6名、前教育長、センターからは所長と所長補佐、係長の計10名である。

本年度取組事業等について、教育推進係、育成支援係より説明。出席委員からはセンタ

一業務が研修講座や青少年健全育成など多岐にわたっていることを確認され、いじめや不登校問題についても意見が寄せられた。会議録は、センター職員全員で確認し、情報を共有すると共に、毎月のセンター職員運営委員会でも、確認協議し、今後の活動に活かしていきたいと考えている。

続いて、平成30年度 第1回加西市子どもいじめ問題対策審議会について報告する。平成30年6月27日（水）にいじめ問題対策審議会を実施した。平成30年3月の同審議会にてアドバイスを、6月の同審議会にて確認、今回の部分改訂に至った。改訂箇所は次のとおり。

- ・スマホ（携帯電話）という表記をスマートフォン・携帯電話と統一した。
- ・「ネット上のいじめ」という表記を「インターネットを通じて行われるいじめ」に変更した。

さらに、未然防止の観点から児童生徒や保護者に対して意識付けをする方がより効果的であると考え、フローチャートから「保護者会等で伝えたいこと」という文章表記に改訂した。

教育委員よりこれまでも啓発を続けられてきたが、加西市における「インターネットを通じて行われるいじめ」の件数はどれくらいあるのかとの質問があった。

平成30年度6月末でのいじめの報告は、小学校で4件、中学校では12件であり、そのうちインターネットを通じて行われたいじめは1学期の間で0件であった。センターでも毎日サイバー・パトロールを行っているのに加え、外部の方にも監視を依頼している。また補導委員さんにも月1回、監視活動をお願いしている旨、説明した。

さらに教育委員より「加西市ではいじめ件数報告が少ない。積極的認知が少ないことも懸念される」とあるが、「積極的認知が少ない」というのはどう理解をすればよいのかとの質問があった。

従来から、いじめに関しては積極的認知に努めているが、いじめ報告は全体的に少なく、学校によっては0件というところもある。「嫌がらせ」という項目もあるため、ここに入っている事案も考えられる。「嫌がらせ」と捉えた事案も保護者に確認するなどして、「いじめ」に該当するものではないのかを再確認し、積極的な認知に努めるように教頭会・担当者会で周知しているため、今後は数字が上がってくる可能性がある旨、説明した。

1 1 協議事項

教育委員より非常に猛暑が続いているが、学校園での熱中症対策はどうなっているのかとの質問があった。これだけの猛暑が続いているため、終業式を暑い体育館に子供たちを集めて行うのではなく、クーラーの効いた涼しい教室で放送により行ったという学校もある。また、小学校では、PTAとの協議の上、今年については地区水泳を全て中止するという対応をしている旨、参事兼学校教育課長より説明した。

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・第8回定例教育委員会 8月22日(水) 14:00～5F会議室(大)
- ・第9回定例教育委員会 9月19日(水) 14:00～5F会議室(大)

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

平成 30 年 7 月 24 日

出席者

(出席者署名)